

しまなみ

尾道市立市民病院広報誌

第33号

発行日：平成28年5月

〒722-8503
尾道市新高山3丁目1170-177
tel:0848-47-1155
fax:0848-47-1004
<http://onomichi-hospital.jp/>

尾道市立市民病院理念

尾道市立市民病院は、信頼される安全で
質の高い医療を提供し、市民の皆さまの健康を守ります。



ごあいさつ

病院長 突沖 満則

平成28年4月1日付で尾道市立市民病院院長に就任いたしました。私は昭和55年に岡山大学医学部を卒業し、同麻酔学教室に入局し、麻酔科学および集中治療医学に従事して参りました。故郷である尾道には平成4年4月に尾道市立市民病院に着任し、平成23年4月より副院長として主に周術期管理および救急医療に携わって参りました。

尾道市立市民病院は尾道地区の中核病院であり、地域医療支援病院として急性期医療、救急医療、高度先進医療、がん治療に重点を置き診療をしておりますが、今後予想される超高齢化社会では生活習慣病対策も重要であり、血管診療センター、消化器・内視鏡センター、腎センター等を設置し、関係する多くの診療科の協力体制の下、質の高い診療を行って参ります。

しかしながら、国の医療費抑制政策と医師不足により現在の医療を取り巻く環境は非常に厳

しく、当院のスタッフがいかに優秀で、地域医療に対するモチベーションも高いとはいえ、個人の努力だけに頼るにはすでに限界に達しており、これ以上の負担増は現在在籍している医師の疲弊を招き地域医療の崩壊が危惧されるまでに至っております。

これまで尾道市医師会、松永沼隈地区医師会、因島医師会をはじめとする近隣医師会のご協力により地域医療を担って参りましたが、市民の皆様にも救急車の適正利用、コンビニ受診を控えていただくなど、今一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

より良質の医療を提供し続けることが当院の使命であり、当院のスタッフ一同も一致協力して医療崩壊の危機を乗り越えたいと思いますので、当院ご利用の皆様のご更なるご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます、就任のご挨拶とさせていただきます。

新副院長就任のごあいさつ

副院長兼がん診療統括部長
兼広報部長

川真田 修

本年4月より副院長に任命いただきました外科の川真田です。尾道市立市民病院に在職し17年が経過しました。今までは臨床、特に肺癌を中心に診療させていただき、呼吸器外科関連の手術経験が1200例を超え少しは地域医療に貢献できたかなと思っておりました。今後は臨床のみならず病院全体のがん診療の発展、医局員の充実、広報活動などで地域医療に貢献す

るよう仰せつかりました。自分にできることを一つずつ確実にこなしていきたいと考えておりますが、はなはだ微力な未熟者であります故、皆様のお力添えもいただきながら責を果たしていきたいと思っております。

今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



副院長兼地域医療連携部長

宇田 征史

4月より副院長、地域医療連携部長に任じられました外科の宇田征史です。

早いもので1998年の11月に尾道市立市民病院外科に着任後17年以上が経過しました。

着任当時は小豆島、庄原等の病院で何でもやる外科医としてやってきた経験から、同じ何でもやる外科医の太田先生の指導のもと、消化器外科医、末梢血管外科医、内視鏡医としての仕事をしておりました。時に、何が専門なのかと言われたこともありましたが、現在は消化器内科、血管外科の開設に伴い本業の消化器外科医として消化管の開腹手術、腹腔鏡手術を中心に

仕事をしています。

この17年間の間に病院を取り巻く医療環境も随分と変わってまいりました。一つの病院のみで一人の患者さんの医療を完結する事は簡単な事では無い状況になって来ており、地域で連携し役割分担を持って患者さんに関わり【地域で完結する医療】を目指す時代になって来ていると思います。

今日までも病病連携、尾道市医師会、因島医師会、松永沼隈地区医師会、三原市医師会等の開業医の先生方との病診連携に支えられて当院が成り立ってきました事に深く感謝しております。

今後さらに風通しが良い一方通行ではなく双方向の太い連携が構築出来ますようにスタッフと協力して頑張りますので、皆様の御支援、御指導のほど宜しくお願い致します。また、改善する点がございましたら可能な限り対処させて頂きますので、お声掛けをお願い致します。



副院長兼健康管理部長
水戸川 剛秀

2016年4月より尾道市立市民病院の副院長兼健康管理部長を拝命しました、内科の水戸川です。水戸川と名字でお気づきの通り、生まれも育ちも尾道です。簡単に自己紹介をさせていただきます。

昭和61年3月に鳥取大学医学部を卒業し、岡山大学旧第三内科に入局、研修病院や大学での6年間を過ごし松山市民病院でほぼ10年間、内科医として研鑽を積んできました。2000年10月に故郷で働ける機会を得て、大変幸せに思っています。市民病院にお世話になって16年あまり、一般内科を主に診療を行ってまいりました。

夜間救急診療所所長併任中には、2014年4月より総合福祉センターの敷地内に夜間救急診療所を分離独立いたしました。一時救急と二次救急の役割分担、オール尾道で救急を支えていくための判断でした。

現在も病院をとりまく環境は様々に変化しつつあります。自治体病院として、高齢化が進むこの地域で標準的な治療を供給し、さらに急性期の体制を維持できよう病院全体のことを考えながら、突冲新院長はじめ病院スタッフとともに、少しでも市民の皆様のお役にたてますよう努力して参る所存です。

ただ内科の現状は、内科系医師の減少によって、日常外来診療や救急医療にも支障がでることは避けられない状況です。しかし病院の健康管理部長として職員の健康も守りつつ、継続可能な安全な医療を市民の皆様にご提供できるようにと考えています。何卒よろしくご指導ならびにご支援いただきますようお願い申し上げます。



副院長兼看護部長
上谷 紀子

昨年、看護部長に就任し、この度、副院長兼看護部長を拝命いたしました。昭和58年、当院が新築移転した年に、大好きな故郷「尾道」に帰り33年が経過しました。

我が国においては、世界に例を見ない少子超高齢社会を迎え、社会保障制度の見直しや医療法の改正など、様々な検討がされています。そして住み慣れた自宅において、望まれる生活を送ることができる「地域包括ケアシステム」の構築と推進がおこなわれています。

そのような中で、治癒しない病気や障害を抱えても残存する機能を引き出し、患者さんがどうしたいのか、自らが自己決定することを支援すること、いわゆる「意思決定支援」が重要となっています。患者さんの QOL_{*1}のみならず

QOD_{*2}をも考え、医療者としての倫理的視点で、治療・看護を提供することが必要であると考えています。

尾道においては、全国平均より早く少子高齢化を迎えていますので、市民の方々が安心して生活ができる地域医療と看護はどうあるべきかを常に考えています。6月には、地域医療連携部に「在宅療養支援室」を設置します。退院支援を専従に行う看護師を3名配置し、入院時より患者さん及びご家族の方の意思決定支援を行います。

また当院においては、チーム医療が充実しています。組織横断的にチーム医療を推進していくためのキーパーソンは、看護師と言われていきます。そのために、自律した看護師の育成にも力を入れて、新人看護職員・ジェネラリスト・スペシャリスト・看護管理者の教育を組織的に支援しています。

今後も、多職種との連携を密にして協働することで、当院が理念に掲げる「信頼される安全で質の高い医療を提供し、市民の皆様の健康を守ります」が実現できますように尽力する所存です。何卒よろしくようお願い申し上げます。

*1 Quality of Life (生活の質) *2 Quality of Death (死の質)

新任医師の紹介



整形外科 医長
わたなべ ますたか
渡邊 益宣

2016年4月1日より尾道市立市民病院に勤務させていただいています、整形外科の渡邊益宣(わたなべ ますたか)です。

平成12年3月に香川大学を卒業後、岡山労災病院で研修を積み、岡山大学で上肢の見地を得て、鳥取市立病院、三朝医療センターで整形外科一般やリハビリの経験を積ませていただきました。その折に開発に関わらせていただいた鎖骨遠位端骨折用プレート(帝人ナカシマメデ

ィカル社 NOW-J)は今日にかけて多施設で利用いただいています。その後5年間は、隣の三原赤十字病院で勤めていました。

隣町に長年勤めていたこともあり、尾道市は大変ゆかりのある町です。備三地区は気候に恵まれ、温厚な人情ある人たちが多く、祭りやイベントも多いので、大変住みやすく親しみやすい町です。そこで引き続き診療ができることに一種の喜びを感じております。

尾道市立市民病院整形外科は専門性のある諸先生のもとで、私も上肢を中心に研鑽を高めていくことを目標としたいと考えております。加えて、尾道市立病院と諸先生方が築いてこられた地域医療の連携の枠組みの一員として頑張りたいと思いますので、皆様方からの温かいご指導のほどよろしくお願い申し上げます。



泌尿器科 医長
のせ ひろき
能勢 宏幸

2016年4月より尾道市立市民病院に赴任して参りました、泌尿器科の能勢宏幸と申します。

2001年に岡山大学を卒業し、2005年からの2年間、こちらの病院で勤務しておりました。今回10年ぶりに尾道の地へ戻って参りましたが、早速千光寺にお参りに行きました。千光寺の桜も、山から見渡す尾道の町並みも変わらず美しく、10年前を思い出しました。

まだまだ未熟な医師ではありますが、初心に戻りこの地域の医療に少しでもお役に立てますよう精進して参ります。宜しくお願い致します。



診療放射線科
ぬま しんご
沼 真吾

2016年4月より尾道市立市民病院に勤務しています沼真吾と申します。

2011年3月に金沢大学を卒業後、地元の岡山の岡山赤十字病院で初期、後期研修を行いました。2015年4月から岡山大学で研修させていただいた後、尾道市立市民病院に赴任となりました。

広島県で過ごすのは初めてで、不安な気持ち

もありましたが、スタッフの皆さんに温かく迎えていただき、充実した日々を過ごしています。また海の幸もとても充実しており、堪能させていただいています。

尾道市市民病院に来て感じたことは、市民病院は開業医の先生との連携が密で、地域全体で尾道市の医療を支えていることです。また他科や他職種との連携も密で、病院全体が一体となり、患者さんを診療していると感じました。自分もその一員として、尾道市の住民の皆さんに、貢献できればと思っています。

まだまだ経験不足でご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、少しでも皆様の力になれるよう、日々精進していきたいと思っていますので、どうぞよろしくお願いいたします。



整形外科
たきひら しょうた
梶平 将太

このたび平成28年4月より尾道市立市民病院に赴任して参りました整形外科の梶平将太と申します。平成24年に岡山大学を卒業後、岡山県の県北部にあります津山中央病院で初期臨床研修を経て、引き続き整形外科にて後期研修を経験いたしました。

今回の赴任において初めての広島県での生活・職場となり、当初は不安な気持ちが強かったのですが、実際に過ごしてみると先輩の先生

方、周囲のスタッフの皆様がとても優しく接して下さり、つつがなく仕事もプライベートも過ごさせていただいております。

今回尾道市民病院に着任し、早々からまず感銘を受けた事は地域連携に関してです。前任地においても地域との連携の重要性が強く謳われておりましたが、市民病院においても開業医の先生との連携も強く、地域一丸となって患者様へより安心できる医療サービスを提供できる体制が整っているように感じられました。

この素晴らしい医療体制に少しでも貢献できるように今までの経験を活かして参りたいと思います。

まだまだ未熟で経験不足と思われませんが、患者様のためにより安全・安心な医療を提供できますよう精進して参りますので、今後ともどうぞよろしく願いいたします。



麻酔科
こばし のりゆき
小橋 範之

2016年1月に採用していただいた小橋範之と申します。

育ったのは尾道よりも50kmほど東の町です。2013年に信州大学を卒業し、兵庫県伊丹市で

初期研修を終えて徐々に西の方に帰って来ました。これ以上西の方には行かず、縁あってやってきた尾道のために貢献していきたいと思えます。そのためには日常診療の中で一つずつ成長していく所存です。尾道の生活にも慣れてきまして平和な町であることにほっとしています。尾道は病診連携がしっかりしていると聞いているので医療関係者の方々にも顔を覚えていただきたいと考えています。

まだまだ後期研修医という立場であり、また未熟者のため、ご指導・ご鞭撻よろしく願いします。



研修医
たけうち つかさ
竹内 司

尾道市立市民病院、初期研修医1年、竹内司と申します。

2015年3月に福岡大学を卒業後、2016年4月より初期研修をはじめさせていただいております。

地元は東広島市です。尾道は一度訪れたこと

があるのみでした。尾道に来てみて、一言で暮らしやすい町であると感じております。非常に景観の美しい町であり、尾道ラーメンをはじめ、さまざまな食べ物があり、一方で、福山市まででかけることができ、暮らしやすく感じております。

研修は、はじまったばかりですが、尾道市立市民病院に来て、未熟な自分に対して、先生方、スタッフの方が親切に接して下さり、感謝しております。

経験が少なく、多々ご迷惑をかけることもありますが、一つずつのことを大切にして、医療に携われている幸せを忘れないように、たくさんのご経験していきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

平成27年度「職員顕彰」受賞者を表彰

平成27年度職員顕彰表彰者を決定し、去る4月18日に、院長室にて表彰式を行いました。

この職員顕彰は、患者さんからのアンケートにより評価の高かった職員を表彰するもので、職員のモチベーション・アップを図り、市民のみなさまに愛される病院づくりを目的として行っています。



院長より表彰を受ける看護師

●平成27年度職員顕彰表彰者

	所属	職種	名前	患者さんからのアンケート内容(ほぼ原文のまま)
1	内科	看護師	田内よしえさん	とても親切で、とてもありがたかったです。1番てきぱきとしてよく働いておられました。ホッとすっきりした感じが良かったです。ありがとうございました。
2	点滴処置室	看護師	伊達千寿美さん	点滴をしていただいて(週1回)います。血管が細くて看護師には迷惑をかけています。伊達さんは1回目で入れてくれます。性格もしっかりして採血室を走り回っています。
3	内科	医療アシスタント	藤田久美子さん	今朝、めまいがして辛くて辛くて病院に受診に来ました。私の顔を見た時、しんどい顔をしているけど大丈夫ですか。その顔を見て気を付けてください。ありがたいですね。
4	産婦人科	看護師	山口 和子さん	名前も覚えていただいている、いつも普段の体調や仕事のことなどいろいろな面で声をかけてくださり、こちらも笑顔を見るとほっとします。
5	産婦人科	医療アシスタント	光木 東子さん	いつも笑顔で、とても説明が丁寧でわかりやすいです。話し方もすごく優しいのでほんわかします。

内科救急体制の変更について

皆様、こんにちは。救急担当部長の水戸川です。平素より当院の救急医療にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

平成16年度から開始された新臨床研修制度に起因する医師不足の影響で、大学への医師の引き揚げが続き、一次および二次救急医療の維持が困難となり、当院に併設されていた一次救急医療対応の夜間救急診療所が、2014年4月1日より総合福祉センターの敷地内に分離されました。そのことによって軽症患者の夜間救急診療所への誘導、かつ当院は二次救急に特化することが出来ようになり、救急車受け入れ困難例も減少させ、当直医の負担軽減を図ってまいりました。しかし残念なことに昨年6月に呼吸器内科医1名、今年3月には内科医2名が転勤退職して、日々の日常診療業務も負担が増し、大学からの非常勤医師の応援を受けても現状の内科救急体制を継続していくことが困難な状況に至りました。

2016年4月よりJA尾道総合病院のご協力を得て週2日(水曜日、日曜日)、5月からは金曜日、日曜日は内科当直不在という苦渋の選択をいたしました。引き続き当直医師や内科系医師の確保に努め、医師確保できれば早急に365日体制に戻しますので、関係各位のご理解とご協力を賜り、引き続きご支援いただきますようお願い申し上げます。

当院は二次救急病院として、救急車を可能な限り受け入れ救急難民が発生しないように地域医療に貢献して行く所存です。ただ当院だけの努力では限界がありますので、尾道市(行政、救急担当機関)、尾道市医師会、近隣の医師会の皆様とさらに連携を深め、限りある医療資源を有効活用できればと考えております。

告示

2016年5月 以降
毎週 金曜日・日曜日 内科当直不在

年度別救急車受入れ件数(医事統計より)

	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
時間内	1,073件	1,120件	1,154件	1,115件	1,202件	1,342件
時間外	1,048件	1,060件	1,094件	1,181件	1,796件	1,939件
夜間救急	693件	754件	710件	582件	-----	-----
総数	2,814件	2,934件	2,958件	2,878件	2,998件	3,281件

湿布薬の取り扱いについて

「平成28年度診療報酬改定」において湿布薬の取り扱いの見直しがありました。



特別な理由無く、1処方につき
70枚を超えて処方できません。

※医師が疾患の特性等により必要性があると判断した場合は、70枚を超えて処方できることがあります。

※対象となる「湿布薬」は、貼布剤のうち、薬効分類上の鎮痛、鎮痒、収斂、消炎剤のことです。

(ただし、専ら皮膚疾患に用いるものを除きます)

ご不明な点はお近くの医療機関までお問い合わせください。

尾道市立市民病院 薬剤部

薬剤部の紹介

薬剤部は職員18名(薬剤師16名、医療アシスタント2名)で構成されています。

私たちは服薬指導、調剤、抗がん剤の調製、医薬品の情報管理などの業務を通して、患者さんへの有効かつ安全な薬物治療に貢献できるよう日々励んでいます。夜間・休日には日直当直体制をとり、24時間365日対応しています。

また、医師、看護師等、他の医療スタッフとの連携も密にし、院内感染対策チーム、栄養サポートチーム、緩和ケアチームなどの一員として、チーム医療にも積極的に取り組んでいます。

当院では治験もっており、治験管理業務も薬剤師の担う重要な業務の一つとなっています。

薬やデータばかりを見るのではなく、人と人とのかかわりを大切にする薬剤部でありたいと思っています。



調剤業務 主に入院患者さんの処方
を調剤しています



病棟薬剤業務 服薬管理や病棟での
服薬指導を行います



がん化学療法業務 外来でも安心して治療が受けら
れるようサポートしています

科目診療割表

診療受付時間 午前8時30分から午前11時まで
 休日・土曜日・日曜日・祝日・12月29日から翌年1月3日

診療科	科別	月	火	水	木	金	備考	
内科	午前	1 診	内科当番医	水戸川 剛秀 (内科全般)	金尾 浩一郎 (腎・内科全般)	水戸川 剛秀 (内科全般)	杉山 晃一 (漢方外来)	
		2 診	杉山 晃一 (内科全般・免疫疾患)	開原 正展 (腎・高血圧)	開原 正展 (腎・高血圧)	金尾 浩一郎 (腎・内科全般)		
		3 診	平野 紘康 (リウマチ・膠原病)		杉山 晃一 (内科全般・免疫疾患)			
		4 診		野島 一郎 (糖尿病)	山口 哲志 (糖尿病)		長澤 紗詠子 (糖尿病)	
		5 診				山脇 泰秀	山脇 泰秀	
	午後	検診	検診	検診	検診	検診	検診	15:30まで ※1 第2・4水曜日
総合診療科	午前	林 啓悟	林 啓悟		山脇 泰秀		15:30まで	
呼吸器内科	午前	林 啓悟		片岡 幹男		大橋 圭明		
消化器内科	午前	1 診	松本 栄治	平岡佐規子	河合 良成	河合 良成	宮部 欽生	
		2 診		宮部 欽生				内科3診で診療 ※2 担当医(河合)
	午後	検査	検査	検査	肝臓専門外来※2	検査		
循環器内科	午前	1 診	岩崎 淳	圓光 賢希	高村 俊行	高村 俊行	小林 博夫	
		2 診	小林 博夫					
	診察	岩崎(禁煙外来)	ペースメーカー外来※3					※3 第1・2火曜日 14:00から 13:00~17:00
	午後	検査	心カテ	心カテ	経食工コー	心カテ		
神経内科	午前		岡本 美由紀			逸見 祥司	予約制	
外科	午前	初診	上塚 大一	宇田 征史	宇田 征史	村田 年弘	村田 年弘	
		再診	公文 剣斗	上塚 大一		川真田 修	川真田 修	
	午後	手術	検査	手術	検査	手術		※4 第2・4水曜日
血管外科	午前		越智 吉樹		越智 吉樹			
乳腺外科 (乳腺外来)	午前					下妻 晃二郎(予約)	9:00~12:00	
	午後	河内※5					※5 松岡(月1回)	
整形外科	午前	1 診	廣岡 孝彦(予約)	藤井 淳一	廣岡 孝彦(予約)	藤井 淳一	廣岡 孝彦(予約)	
		2 診		迫間 巧将	渡邊 益宜	渡邊 益宜	渡邊 益宜	
		3 診	藤井 淳一	鈴木 美穂	迫間 巧将	鈴木 美穂	桐平/藤井※6	※6 桐平(第1・3・5金曜日) ※6 藤井(第2・4金曜日)
	午後	手術	手術	手術	手術	手術		
	形成外科	午前	高田 温行	高田 温行	高田 温行	高田 温行	高田 温行	
小児科	午前	井上 直樹	井上 直樹	井上 直樹※8	井上 直樹	井上 直樹	※8 第3水曜日休診 ※9 第1木曜日	
	午後	検査	乳児検診	林(発達外来)※9	林(発達外来)※9	脇(循環器外来)※10	※9 第1木曜日 ※10 第4金曜日(偶数月) ※11 第1・3火曜日	
小児外科	午前		野田 卓男(予約)※11				※11 第1・3火曜日	
	午後							
脳神経外科	午前	1 診	土本 正治	大同 茂	岩戸 英仁	土本 正治	大同 茂	
		2 診					岩戸 英仁	
産婦人科	午前	新患再来 妊婦健診	大村 裕一	大村 裕一	大村 裕一	大村 裕一	大村 裕一	
		午後	母乳外来	母乳外来	母乳外来	母乳外来	母乳外来	
皮膚科	午前	検査	検査	手術	手術	検査	検査	
		午後	検査	手術	手術	検査	検査	
泌尿器科	午前	1 診	大枝 忠史	河田 達志	大枝 忠史	能勢 宏幸	大枝 忠史	
		2 診	能勢 宏幸	大枝 忠史	能勢/河田	大枝 忠史	河田 達志	
耳鼻いんこう科	午前	診察あり	診察あり	診察あり	診察あり	診察あり	診察あり	広島大学病院より
		午後		佐々木(睡眠時無呼吸外来)				
眼科	午前					諫見 久恵		
		午後				諫見 久恵(予約)	14:00まで	
放射線科	午前	画像診断	三船 啓文	三船 啓文	三船 啓文	三船 啓文	三船 啓文	
		治療	沼 真吾	沼 真吾	沼 真吾	沼 真吾	沼 真吾	
	午後	画像診断	画像診断	画像診断	画像診断	画像診断	血管造影 勝井(治療)	予約制
歯科口腔外科	午前		吉田 明弘	吉田 明弘	手術	吉田 明弘	吉田 明弘	
		午後	口腔外科	口腔外科	口腔外科	口腔外科	手術	予約制

専門外来のご紹介(予約制)

- 月 曜 : 禁煙外来(毎週)/ストーマ外来(第2・4)/頭痛外来
- 火 曜 : ベースメーカー外来(第1・2週)/睡眠時無呼吸外来/緩和ケア相談外来(午前)
- 水 曜 : フットケア外来(第2・4週)/乳腺外来/脳ドック外来
- 木 曜 : 肝臓専門外来/小児発達外来(第1週)/緩和ケア(精神)外来(第2週)/緩和ケア(身体)外来(第4週)
- 金 曜 : 乳腺外来(午前)/小児循環器外来(偶数月/第4週)

